

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム あげぼの

目標達成計画

作成日 : 平成 22 年 7 月 27 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|-------------------------------------|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | | 入居者状況……平均年齢89.1歳/90歳以上5名/車椅子生活者1名/補助具使用歩行者5名 昨年後半頃より、転倒・ベッドからのずれ落ち・食事中のムセ込みが多くなってきた。 | 生活場面で起こり得る事故を事前に予測し、防止できる介護体制作りをする。 | 加齢に伴う、身体面・精神面の機能低下が進む中、残存機能は可能な限り生かし、自立した生活場を維持したいと努力している。一人ひとりの生活能力と傾向を安全面からアセスメントし、事前に事故を予測し、防止できる介護と援助を職員全員で共有し、事故を起こさない意識の徹底をする為の話し合いをする。 | 1 ヶ月 |
| | | | | ○ ひやりハット事故報告書の見直し ○ 安全面から施設全体のハード面・ソフト面の点検 | 2 ヶ月 |
| | | | | 個々の残存能力と自立性を見極め、本人の希望に沿ったケアプランの立案をし、ご家族の了解と協力を得る。 | 6 ヶ月 |
| | | | | | ヶ月 |
| | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。